

企業の社会的責任（CSR） ～法令遵守から企業価値創造まで～

4月14日のPONPO-NETで、アイセック仙台委員会の村上さん達が、「企業の社会的責任（CSR）」をテーマに発表・討論を行った。

恥ずかしながら「Corporate Social Responsibility」は初耳で、この会合はCSRの概念や参加者のコメントなど非常に有意義なものだった。

CSRとなると、まず国内外で相次いだ企業の不祥事が浮かぶ。私の所属する会社でも、くだんの乳業会社やハム会社と取引があった。乳業会社の1回目の中毒事件では反省の機会をということで継続したものの、2度目の関連会社牛肉偽装ではついに取引停止に踏み切った。なぜこんな事かと思う一方、もし逆の立場だったらと考えると決して他人事ではない。

社会貢献は実施していればプラス評価、社会的責任はやっていなければマイナス評価になる厳しさという相違はある。だがCSRは法令遵守や収益確保などの最低限の法的・経済的責任だけではなく、積極的な面こそが重要な言うまでもない。社会的側面としては、企業倫理・情報公開、企業市民としての社会貢献があげられる。そしてさらには社会の多様なニーズを、企業の価値創造や新しい市場創造へと戦略的に結びつけていくことまでつながるようだ。

自分の属する会社が現在のデフレ不況を乗り切り、いわば社会のインフラストラクチャーとして認められ、企業活動が顧客に支持され評価されたいと率直に思う。CSRの観点から、市場・環境・地域社会・雇用などにわたり、企業の利害関係者とは当然ながら、NPOや市民・行政などとアイデアを出しあい協力しあう必要があるにちがいない。

せんだい・みやぎNPOセンター
理事 八木 充幸

内 容

4月からの事業紹介
地域貢献サポートファンド
センターサロンのPONPO-NET報告
評議員会報告、本、事務局活動報告

◆ 4月からの事業紹介 ◆

各事業がリンクして相乗効果・成果を生み出します

せんだい・みやぎNPOセンターは、現在右ページの事業に取り組んでいます。どの事業も密接にリンクしている事業ばかり。これまでの事業・活動がますます一体化して、相乗効果を生み出しはじめていることがわかりただけなのではないでしょうか。

まず、気になる事業やイベントに参加してみてください。そして、そこから様々なお役立ち情報をお持ち帰り下さい。

これからも当センターは、NPOが活動しやすい市民社会づくりを進めて行きます。

●サポート資源提供システム

サポート資源提供システムは進化します。

開発と試験運用から本格運用に入った3年目のサポート資源提供システムは、協賛企業・団体や提携企業・団体の整備が進み、参加企業による運営委員会が機能し始めています。試験運用から1年半で、備品約1000点、中古PC100台、レーザープリンター10台、資金262万円、合計で約900万円程度の資源をNPOの皆さんに提供してきました。

また、資金提供のしくみが市民・企業から見えやすいようにと、地域貢献サポートファンドみんな（愛称みんなファンド）の設立に向けた準備も進めてきました。地域貢献活動相談センターも開設しました。

2003年度は、これらの方向性をより強化して、ファンドを大きくはばたかせ、他の事業との連携により、企業市民のボランティア・NPO参加を促進していきます。

●地域貢献活動相談センター

企業は、日ごろお世話になっている地域の人々に感謝する意味で、様々な社会貢献活動を行っています。宮城県内でも、「サポート資源提供システム」にご参加いただいた企業などから、NPOを通じて地域のために企業がすることや支援方法についてご相談を受けることが

多くなりました。そこで、地域貢献活動についてご相談いただく、「地域貢献活動相談センター」をこの3月より当センター内に開設しました。地域貢献活動への取り組み方はもちろん、ボランティア活動への社員参加やNPOと企業の関係などについての社員研修などのご相談にもお答えします。

●せんだいCARES

NPOの活動は、地域の市民に行政や企業の気がつかないサービス、出来ないサービスを提供することで、問題を解決していくことです。そこで、11月に仙台市内で開催されるNPOの催しを通じて、企業市民にNPO体験してもらおうという企画です。参加方法は、当日までの準備段階からのお手伝いや、イベントやボランティア講座への参加などいろいろ。サポート資源提供システムでつながりの出来た企業の協力を得ながら、分野を越えた一大キャンペーンとして仙台名物になるようなイベントに成長させたいと考えています。

●NPOの政策提案力の開発と

NPOの参画を保証する

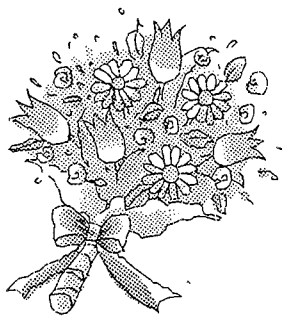
自治体の政策形成システムの提案

98年のNPO法制施行以降、今や1万を越えるNPO法人が誕生していますが、その政策提

●この春からの事業紹介

事業名	事業内容
サポート資源提供システム関連 地域貢献サポートファンド	企業や市民と連携し資金・物品・PCなどを提供し新しい社会貢献を進めます。 情報公開を積極的に行うNPOを対象とした、市民による資金支援のしくみ「地域貢献サポートファンド みんな(略称:みんなファンド)」が7月からスタート。
地域貢献活動相談センター	企業や個人が地域貢献活動をするためにどんなところから取り組んだら良いかなどのご相談を受けつけます。毎月、第3水曜日の午後が「地域貢献相談日」!
企業とNPOの交流・連携のための巡回フォーラム	企業とNPOの連携を促進するためのフォーラムを県内3ヶ所(仙台・古川・石巻)で実施。先進事例を知り交流を深めます。(宮城県共同募金会配分金)
NPO情報ライブラリー	NPOの情報を公開し、社会への情報提供を行うことでNPOの認知度向上を目指します。登録NPOを随時募集中。
せんだいCARES関連 広報プロジェクト (VOICE OF NPO) NPO人財サポート プロジェクト	11月にキャンペーンを実施。市民・企業人が多くのNPOの活動に参加することで仙台を「ケア」します。NPOの活動を市民や企業にPRします。(日本財団助成) 市民の力をNPOの広報に活かす、NPOの広報支援企画です。昨年は、13団体のNPOと21人の市民ライター&デザイナーが参加しました。 昨年に引き続き2年目。NPOのボランティアマネジメント、企業人のNPO活動の推進、企業とNPOとの連携促進をこつとも進めていきます。
コミュニティビジネス関連 コミュニティビジネス開発講座	・地域の課題を解決する事業・活動を応援します。 ・コミュニティビジネス(CB)の本質・概論を学び、企画を実践しながらCBのノウハウを学び、ネットワークを築きます。(受託:仙台市産業振興事業団)
コミュニティビジネス 実践研究会	・地域から海外までのCBの様々な実践例を題材に取り上げながら、CBの理論構築、地域にあったCBのあり方を研究していきます。
アドボカシー関連 NPO法制度部会 調査・NPOの政策提案力開発と NPOの参画を保障する 自治体の政策形成システムの提案	・宮城県議会議員の方々との勉強会も継続中。政策提言能力向上を応援。 ・NPO法・税制、公益法人改革について発言を続けます。全国組織のNPO/NGOに関する税・法人制度連絡会に参加・連携しながら仙台からの声を届けます。 ・①NPOの政策提案力向上②NPOの参画を保障する自治体の政策システムの提案③この二つの発信と普及、を3年間実施します。(トヨタ財団助成)
仙台市市民活動サポートセンター関連 カラフルフェスタ 人材育成講座 市民活動起業講座	・仙台市の施設「仙台市市民活動サポートセンター」の管理・運営を受託。 ・さまざまな市民活動団体の方々のご協力をいただき、6/30-7/6まで開催します。オープニング企画では「公共施設の未来」をゲストと共に議論します。 ・市民活動団体の人材育成のために効果的な講座を開催します。どのような講座を受講してみたいかなどご意見をお待ちしています。 ・「市民起業家」として地域課題を解決する仕事、事業についてスポットをあて、起業への思いの実現を支援します。
みやぎNPO支援センターネットワーク関連	宮城県内の5つの民間NPO支援センターと協力し、地域のNPOのマネジメント支援事業を実施します。
NPO実践講座	せんだい・みやぎNPOセンターの自主事業講座です。NPO法人化、資金調達、会計税務、リスクマネジメントなどのテーマを予定。
セナードサロン	市民活動団体の交流広場です。テーマは毎回変わります。社会問題、法律にかかわる事、ネットワークづくり、ちよつと遠出のサロンなどを企画中。
PONPO-NET	NPOと企業人が出会うプラットフォームです。サロン機能とプロジェクト創出機能をもっています。関心がある方は気軽に参加できます。お問い合わせください。
NPO経営相談	聞くに聞けない団体の運営・経営の悩みや困りごとに当センターの代表理事・加藤がお答えします。月に1回特別料金で開催中!
書籍販売「みんなん堂」	NPOの基礎からマネジメント・会計など様々なテーマの書籍を販売中。ホームページにも申込み表をアップしています。ファックスでの注文もできます。
すくすく市民プロデューサー養成講座	青年育成プログラムへの講師派遣。NPOへのインターンシップや企画講座を通してスキルアップを図ります。主催:宮城県
講師派遣	様々なテーマで当センタースタッフが講演・ワークショップに伺います。対象も市民・企業・NPOいずれでもOK。お問い合わせ、お待ちしております。
視察・ヒアリング	行政・企業・NPOからの視察・ヒアリングのご依頼にお応えしています。分かりやすい説明と資料を準備してお待ちしています。ご予約はお早め!

言力はまだまだ発展途上の段階です。そこで、当センターとまちづくり情報センターかながわ(アリスセンター)と市民活動センター・神戸の3団体が共同体制のもとに①地域課題に対するNPOの「政策提案力」を高めるためのNPO及びNPO支援組織の技能の開発、②NPOの参画を保障する自治体の政策形成システムの提案、③この2つの開発と提案の全国各地及び地域社会への発信と普及を図る、といった事業を、3年間トヨタ財団市民社会プロジェクト助成を受けて実施します。当センターでは、宮城県内のNPOへのテーマ別グループヒアリングから調査活動をスタートさせ、10月3日には公開中間報告会のようなものも開催予定です。(トヨタ財団市民社会プロジェクト助成)



●広報プロジェクト (VOICE OF NPO)

昨年、のべ600人弱の市民とNPOが参加したこのプロジェクトは、昨年の企画内容をさらにバージョンアップさせて今年も実施します。新たな市民ライター&デザイナーの養成とNPOとの協働広報制作に挑戦します。昨年参加された市民ライター&デザイナーのなかには、すでにプロやNPOのメンバーとして活動している方も誕生。市民がNPOで自分の実力(文章を書き、デザインすること)と社会参加の面白さを再発見する心憎いまでの企画です。広報力不足のNPOは、ぜひ、受け入れ先としてエントリーしてください。

●企業とNPOの交流と連携のための巡回フォーラム

宮城県内でも様々な形で企業とNPOの連携や協働が始まっています。しかし、これらの動きは単発であることも多く、しかも連携や協働が人々の目に触れる機会も少ないのが現状です。そこでこのフォーラム(全3回、仙台市・古川市・石巻市で開催予定)を通し、企業とNPOの連携事例を直接他の企業人から聞くことで、企業人のNPOへの主体的な参加とNPOの理解促進をいっそう進めていきたいと考えています。第1回目は、「地域貢献サポートファンド」始動のイベントと合わせて7月17日に仙台で開催します。企業人とNPOと一緒に学び交流することで、宮城の「民力」をパワーアップしましょう。

●実践型コミュニティビジネス開発講座

昨年好評のうちに終了した「コミュニティビジネス(CB)開発講座」。実施した成果として、以下の4つがありました。①CBという起業スタイルの関心の高さを確認することができた、②CBの種が地域社会や女性の周辺に多くあり、女性と起業支援機関との出会いの場を提供できた、③参加者の交流と情報交換で起業チャンスの有無や新しい協同事業の可能性を確かめることができた、④企業がNPO的視点での事業を展開する際の支援の必要性を確認することができました。今年は、昨年の事業をより発展させながら、実践を取り入れて講座を実施していく予定です。これまで当センターで様々な視点からCB支援に取り組んできましたが「起業しました」といううれしい連絡もいくつか届いていきます。起業の支援だけでなく、起業した後のサポートも充実させていく予定です。

■今後、これらの重点プロジェクトで開催する講演会やフォーラム、講座が相次いで開催されます。手帳に早速赤◎(マル)チェックして、ぜひご参加ください。

■セダードサロン報告■

第74回 第75回

第74回は、「開館前線上昇中！」と題し、エル・ソーラ仙台（5月末オープン）と仙台市子ども家庭支援センター（12月オープン予定）の新しい2施設について情報交換をしました。エル・ソーラ仙台は、男女共同参画をテーマに幅広い市民を対象として交流スペースや情報発信を主な機能とし、もともとあったエル・パーク仙台は、市民活動団体の拠点に特化することでした。また、仙台市子ども家庭支援センターは、乳幼児を持つ親を対象とし、地域の子育て支援情報や託児などの拠点施設とのお話でした。

第75回は「いろいろあります！セダード的電話相談」でした。子どもや女性支援、労働者、HIV問題など、様々な分野で電話相談をしている7つの市民活動団体から話を聞きました。相談員の養成のしかたや運営の仕方、相談内容までまさに「いろいろ」でしたが、共通していた相談対応のコツは、まず「聞くこと」。自分の悩みを話すことができ、それを聞いてくれる存在がまず必要なのだということがわかりました。市民の手でボランティアに続けられている、身近な電話相談サービス。これからも多くの市民に活用されていくよう期待したいですね？（田中 聡子,中務 恵美）

●次回

- ・全市で総額2,130万円！市民提案型まちづくり活動助成の活かし方」5/29（木）
 - ・「災害に備えたまちづくりNPOと市民からはじまるネットワーク」6/12（木）
- 会場・仙台市市民活動サポートセンター/19時から

部会報告

■PONPO-NET■

4月14日は通常の会場ではなく、宮城ゼロックス（株）の地域の住民・団体・企業と協働を進めることを目的として開設された「コラボレーションルーム」をお借りしてサロンを行いました。

今回は「企業の社会的責任（CSR = Corporate Social Responsibility）とは何か？～CSRを行う際に、どうすれば企業利益と社会利益が結びつくのか？～」と題して行いました。企画・進行役はアイセックのメンバーにお願いしました。まずイギリスなど諸外国の事例から、CSRとは何か、企業利益と社会的利益が結びついている状態（理想状態）はどんな状態かを参加者で共有し、それがうまくいっていない要因は何か？どうすればうまくいくか？を論点にして意見交換を行いました。

「商品やサービスを選ぶ消費者側の意識を向上させる必要があるのではないか」「企業を評価するものさしが必要」「企業を評価して消費者に伝える役割をNPOが担っていくのはどうか」参加者全員の意見をうまく引き出す進行で、CSRに関して様々な意見がでました。

今回はオランダから来仙している研修生をゲストにむかえ、オランダの事例を報告してもらいながら引き続きCSRについて考えます。（5/24に終了しました）（中津 涼子）

評議員会を開催しました

政策提言やNPO間の共同事業などが提案されました

さる4月22日、第5回評議員会を開催しました。評議員会は、現在年2回（10月・4月）開催しており、個人依頼14名、団体依頼16名の計30名で構成されています。それぞれの評議員はNPO関係者の他、企業、経済団体、マスコミなどで活躍されている方々も多く、当センターの運営状況について多様な立場から、意見をいただく機会となっています。

今回は評議員9名のほか理事3名と職員4名の計16名が出席し、まず、常務理事と担当職員より昨年10月から本年3月までの事業経過の報告があり、続いて、代表理事の加藤より今後の展望が述べられました。特に後者については、今年度の新規事業であるトヨタ財団の助成プログラムを紹介。「市民の政策提言能力強化に向けた取り組みを重視する」という報告に、各評議員は強く関心を抱かれたようでした。

その後、自由な意見交換を行い、ここでも「市民の政策提言」活動について非常に多くの意見が出された他、「当センターとNPO間の共同事業」についても提案されました。セクターの差異を問わず、市民がNPOのアドボカシー能力に対して期待が高まりつつあることを示すものではないでしょうか。

当センターでは、今回寄せられた意見を活かしつつ、今後も力強い活動を展開していきます。ご期待下さい！（工藤 寛之）

● 7月からはじまります ●

お金を出すドナー体験を
「みんなファンド」でしてみませんか!

NPOの資金不足は、永遠の課題でしょうか。いえいえ、魅力ある活動には、共感を覚えた人が資金で、あるいは人材として協力してくれるはず。とはいっても、魅力や共感を憶えるポイントは十人十色。協力方法も、1通りではありません。

そこで、当センターでは、情報公開を積極的に行うNPOを対象とした、市民による資金支援のしくみ「地域貢献サポートファンド みんな(略称：みんなファンド)」を7月よりスタートさせます。これは、「今、資金支援を必要とするところ」へ資金を提供するしくみとして、また、地域の市民・企業・団体で地域貢献・社会貢献を志する人々の想いの受け皿として、既存のサポート資源提供システム機能の1つとして設置される市民基金です。

当センターは、NPOへの支援には、民(市民・企業・各種団体など)による民(NPO・市民活動団体)を支えるしくみが不可欠であると考えています。特に発展期にNPOの活動を促進し、責任を持って社会に

サービスを提供していく団体に育成(インキュベート)していくためには、民間だからこそ可能な、フレキシブルな資金支援のしくみを実現する必要を痛感します。

「みんなファンド」は、7月には運用を開始する予定で、現在その運用にあたる規約案の協議を行っています。このファンドの主な事業は、2つあります。

1) 地域貢献を行いたい市民・企業・団体(ドナー)の相談とコンサルティング事業。ドナーが支援したい団体や分野など、NPOに関する情報提供や相談に応じます。

2) ファンドの運営事業。ドナーの受け入れや、ドナーの条件に合わせて支援先を仲介・公募したり、審査をするための選考委員会の運営を行います。同時に、資金の管理・運用も行います。

「みんなファンド」は、まさに市民から市民へと贈られる基金です。わたしたちは、県内で活動をしている企業・団体(労働組合など)・市民を対象に協力を呼びかけていく予定です。チャリティーで集めたお金やお香典返しを活用した記念基金としてご活用いただくというのも、素敵なアイデアですね。

(紅邑 晶子)

BOOK

ファシリテーション革命

中野 民夫 著

岩波アクティブ新書69 740円(税別)

今すぐ会議をやりたくない、そんな本に出会った。

ビジネスにしろ、市民活動にしろ、人々が集まって何かをやろうとすれば、会議はつきものである。しかしその会議は果たして魅力的かつ生産的だろうか。「長い」「結論が出ない」「脱線する」等、残念ながら「もつと何とかできないものか」と感じてしま

うことが多い。本書は、日頃のどこの世界にもある会議の悩み対して、ワークショップやファシリテーションの応用の仕方を教えてくれる。

もともと本書は、その名の通り「ファシリテーション」という新しい技法について、特にワークショップにおけるファシリテーションの技術や心得の基礎について書かれた本である。

しかしワークショップやファシリテーションは、決してイベントのような非日常の時間だけのものではない。「人々が集って何かをしよう」とするとき、どうしたら一人一人の中に眠る思いをもっと

引き出し、お互いに活かし合い、創造的な成果に結びつけることができるだろうか」といった悩みは、日頃の仕事や活動のなかにもある。

本書はファシリテーションの応用として、会議への応用の仕方を教えてくれる。一つの会議を一つのワークショップにみ立てて、事前の準備から会議プロセスの展開の仕方、事後のフォローアップまで詳述する。前の章で、実際のワークショップの事例をあげ、ファシリテーションがどのように役立つかの具体的なイメージや、それが注目されるようになった時代的背景、実際にファシリテーションするときに役立つ具体的な技術、更には「ファシリテーター八か条」まで教えられた後だから大変わかりやすい。すぐに実践したくなる。

会議への応用は本書の主題ではないが、ファシリテーションを会議といった日常の現実にとんどん活用していく可能性を感じる、非常に示唆に富む本である。

(小口 翠)

事務局活動報告 (2003.2/15~5/22)

活動
報告

■事務局/自主事業関連

- ・事業・運営会議 (第56回:2/20 第57回:3/6 第58回:3/20 第59回:4/10 第60回:4/24 第61回:5/16)
- ・仙台市市民活動サポートセンター全体ミーティング (2/19・3/5・12・19・4/2・9・16・23・5/7・14・21)
- ・センター会議 (2/26・3/26・4/30)
- ・事務局ミーティング (3/13・4/15・5/12)
- ・理事会 (第45回:3/19 第46回:4/19 第47回:5/22)
- ・事業企画戦略会議 (第11回:3/20 第12回:4/17 第13回:5/2 第14回:5/12)
- ・VOICE OF NPO「座談会」[パネル展示「共感するNPOシンポジウム」(2/17・4/1~14・12 紅色・門間)
- ・サポート資源提供システム事務局連絡会 (2/17・4/3)
- ・NPOへの人財サポートシステムの開発「研究会」(2/18 紅色・遠藤・真壁)
- ・サポート資源提供システム「運営委員会」[記者発表] (2/20・24・5/13加藤・紅色・青木・遠藤・高田)
- ・セナードサロン「変わる!NPO法人制度緊急学習会」[開館前線上昇中!][セナード的電話相談!][センプレ] (2/20・3/13・4/18・5/21 紅色・遠藤・田中・中務)
- ・情報発信パワーアップ連続講座 (3/11・18・25 加藤・紅色・門間・町田)
- ・地域貢献活動相談 (3/12・4/9・5/14 加藤・紅色)
- ・コミュニティ・ビジネス実践研究会 (3/17・4/17・5/8 加藤・紅色・山田・川村・遠藤・門間)
- ・PONPO-NET「企業の社会的責任(CSR)とは何か?」(4/14 八木・中津・松尾)
- ・法制度部会勉強会 (4/14・5/7 加藤・紅色・高田)
- ・第5回評議員会 (4/22 加藤・紅色・青木・遠藤・工藤・遊佐)
- ・「会計・税務専門家のためのNPO講座」「NPO法人のための実務講座」(4/26・27 加藤・畠山・遊佐)

■NPO/企業関連

- ・21世紀の地方自治土曜セミナー/主催:(財)社会開発研究センター (2/15 加藤)
- ・集落整備構想作成方針検討研修会/主催:宮城県土地改良事業団体連合会 (2/17・18・19 加藤)
- ・「NPOその本質と可能性について」講演/主催:(社)全日本建設技術協会宮城県特別会員市会 (2/19 紅色)
- ・NPOパワーアップセミナー<大阪編>/主催:(財)住友生命社会福祉事業団 (2/21 加藤)
- ・東北パートナーシップ研究会<盛岡研究会><仙台研究会>/主催:(協)プランニングネットワーク東北 (2/21 3/5 加藤・紅色・高田・工藤)
- ・第5回巡回講座<仙台編>/主催:みやぎNPO支援センターネットワーク (2/22・23 加藤・青木・工藤)
- ・NPOパワーアップ講座/主催:いわてNPO-NETサポート (3/1 紅色)
- ・全国ボランティアコーディネーター研究集会2003「NPO型ボランティアコーディネーターのきほんのき」/主催:全国ボランティアコーディネーター研究集会2003実行委員会 (3/7・8 加藤・紅色・青木・真壁)
- ・ひとと文化とボランティアの講座/主催:(財)仙南文化振興財団 (3/12 加藤)
- ・日本NPO学会年次大会 (3/14・15 加藤・高田)
- ・(特)日本NPOセンター理事会 (3/18 紅色)
- ・(特)市民社会創造ファンド懇談会 (3/18 紅色)
- ・トヨタ財団市民社会プロジェクト助成事業共同者会議準備会 (3/18 加藤・紅色)
- ・「NPOと行政の協働を促進する仕組みづくり」/主催:(特)NPO

- くもと (3/23 加藤)
- ・シンポジウム「公益法人制度改革を問う」/主催:(特)日本NPOセンター・シーズ (3/25 加藤・紅色)
- ・「ここまで広がったNPO活動の現状」/主催:仙台五城ライオンズクラブ (3/26 加藤)
- ・「NPOのための実務講座」修了式講演/主催:(特)ちば市民活動・市民事業サポートクラブ (3/29 加藤)
- ・NPOフォーラム「地域を元気にするNPO活動とは」/主催:NPOもがみ (3/29 紅色)
- ・Jcafe理事会 (4/19 加藤)
- ・NPO/NGO税法人制度改革連絡会総会 (4/25 加藤・紅色・遠藤)
- ・日本財団助成事業報告 (4/25 加藤・紅色・遠藤)
- ・NPOマネジメント編集協力委員合宿 (5/9・10・11 加藤・紅色・青木・佐藤)
- ・NPO支援センタースタッフ研修会/主催:(特)日本NPOセンター (5/16・17 遠藤・中務)

■自治体関連

- ・会津坂下町まちづくりフォーラム講演/主催:会津坂下町 (2/15 紅色)
- ・百年の杜づくり青葉フォーラム/主催:仙台市建設局百年の杜推進部緑化推進課 (2/21 中津・松尾)
- ・仙台市市民活動サポートセンター人材育成事業「リーダーとスタッフのためのマネジメント講座」「ズバリわかる!NPOこと始め」「フォローアップ講座」/主催:仙台市市民局地域振興課 (2/22・3/6・4/15)
- ・アクティブシニア・ビジネスコンテスト審査会/主催:宮城県産業経済部人材育成課 (2/24 紅色)
- ・福島市市民活動懇談会/主催:福島市 (2/25 加藤)
- ・都心居住研究会 (2/26 紅色)
- ・アレマ隊養成講座/主催:仙台市環境局廃棄物管理課 (3/4 紅色)
- ・NPO活動のためのマネジメント講座/主催:奈良県 (3/9 加藤)
- ・せんだいエコ・チャレンジ実行委員会 (3/10・4/15 加藤)
- ・スポーツリーダー講習会/主催:多賀城市民SC (3/15 青木)
- ・「参加と協働の時代における市民とのコミュニケーションについて」/主催:国土交通省 (3/19 加藤)
- ・仙台都市圏総合都市交通協議会 (3/19 加藤)
- ・仙台市市民活動サポートセンター利用者意見交換会「さぼ談」/主催:仙台市市民局地域振興課 (3/20)
- ・「市民のためのNPO」/主催:佐賀市 (3/22 加藤)
- ・河南町職員研修会 (3/27 加藤)
- ・定禅寺通利活用方策検討委員会 (3/28 紅色)
- ・仙台市市民活動サポートセンターまつり第3回市民活動カラフルフェスタ「協働団体企画説明会」(4/17・5/16)
- ・エル・パーク管理運営団体選考委員会 (4/24・4/30 紅色)
- ・みやぎNPOプラザ運営協議会 (5/8 加藤)
- ・宮城県職員研修 (5/14・21 加藤)
- ・仙台市職員研修 (5/15 加藤)
- ・仙台市生涯学習課 (5/20 加藤)
- ・仙台市太白区まちづくり活動助成事業評価委員会 (5/21 遠藤)

■相談、ヒアリング関連

- ・経営相談 (3/3・4/15・5/20 加藤・青木)
- ・ヒアリング:なごやボランティア・NPOセンター茂谷さん (2/21)
- ・相談:野のゆりホーム (2/24)
- ・ヒアリング:させほ塾 (3/6)
- ・相談:仙台市スポーツ連盟 (3/13)
- ・相談:イコールネット仙台 (4/1)
- ・相談:左脳の会 (4/4)
- ・ヒアリング:(特)長野県NPOセンター (5/16)

サポート・ご協力 ありがとうございます

●平成14年度会員 (五十音順、敬称略、2003.2/17~2003.5/16)

(新規)青木正、木村塾、(特)ほっとあい、(社)日本損害保険協会東北支部、江口徹治、佐藤照子、国分伸矢、大五村社会福祉協議会ボランティアサポートセンター

(継続・個人・正会員)遠藤哲哉、内海睦夫、広岡立美、藤井敦史

(継続・団体・正会員)FMじよんぱライフネットワーク、

(継続・準会員)東洋ゴム工業(株)仙台工場、(特)生活リハビリクラブきらら、地域経済生活活性化協会

(平成13年度)穴澤鉄男 (平成15年度)片倉玄

●企業・団体協力 (五十音順、敬称略) 岡元タイ(事務局スペースを社会貢献価格にて)、東北NSソリューションズ(PONPO-NETの会議室を無料提供)、宮城ゼロックス(PONPO-NETの会議室を無料提供)、富士ゼロックス(カラーコピー機を社会貢献価格にて)

催事・サポート案内

■センターサロン

・5/29 (木) 全市で2,130万円、市民提案型まちづくり活動助成の活かし方

・6/12 (木) 災害に備えたまちづくり・NPOと市民からはじまるネットワーク

開始: 19時~ 参加費: 500円

会場: 仙台市市民活動サポートセンター

■NPO経営相談 6/17 (火) 7/23 (水) 8/7 (木)

■市民活動カラフルフェスタ 6/30~7/6

(主催: 仙台市、企画・実施: 当センター、会場: 仙台市市民活動サポートセンター)

1. 6/30 (月) 利用する市民から、参画する市民へ ~公共施設の未来 18:30~21:00

2. 7/1 (火) NPOボランティアマネジメント講座 18:30~21:00

せんだい・みやぎNPOセンター

〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル4F

tel 022-264-1281 fax 022-264-1209

E-mail minmin@minmin.org

http://www.minmin.org/

会費・寄付はこちらにどうぞ!

郵便振替: 02260-3-16325

加入者: せんだい・みやぎNPOセンター

新スタッフ紹介

仙台市市民活動サポートセンターに勤務中(非常勤)です。ぜひ一言お声がけください。

●氏名: 小口翠 ●出身: 長野県岡谷市 ●特技: 笑顔、ダンス

●将来: 国際保健医療に携わること。特に医療コンサルタントとして、人々の健康のために、ある地域の保健医療システムのなかで地域住民による保健活動をどのように効果的に機能させていくかに着目して、保健医療援助のプラン作りにあたりたい。現在の関心は、ボランティア・マネジメント。将来NPO/NGOで働くため、また地域保健活動に携わる人材(住民、医療従事者、行政官等)をどのように最大限活用していくかを研究するため、ここでの仕事を通してボランティア・マネジメントを勉強していきたい。

スタッフ異動

工藤寛之(本町→大町)

真壁さおり(大町→本町)

引き続きよろしく申し上げます。

■岡元ビル4F 仙台駅から徒歩15~20分



みんみん編集後記

■なんだか、イラク侵略や北朝鮮の核問題を肴に、私たちの国の制度が戦争しやすい方向に変わってきています。軍備に使うお金をNPOのお金に使ってくれるほうが、平和的な資金循環になって、この国の憲法にふさわしいと思うのですが。(紅邑)

■春4月。旅立ちの季節。じゃありませんが、私は職場をサポセンから本部事務局にお引越。で、一番驚いたのは本人や同僚より行政の方々。「え!NPOなのに人事異動ですか?」「やっぱり辞令交付ってあるの?」と関心を引いた模様。とにかくも、今後ともよろしくごひいきに。(工藤)

■お休みをいただき2-3月にサンフランシスコのNPOでインターンをしてきました。日米のNPOも課題や熱意は一緒!手法などをアレンジして仕事に生かしたいなあ。7月中旬に公開報告会を実施する予定です。ぜひいらして下さい。(遠藤)

●編集部にご感想をお待ちしております。